

# 竹 中 治 堅 教授

---

役 職：政策研究センター所長補佐

専門分野：比較政治、国際政治経済

学 位：Ph.D. (政治学)、スタンフォード大学

略 歴：1993年東京大学法学部卒、大蔵省入省、1998年スタンフォード大学政治学部博士課程修了 (Ph.D.取得)、同年中央省庁等改革推進本部事務局、1999年本学助教授、2004年本学政策情報研究センター長、図書館長 (2006年まで)、2007年本学准教授。2010年本学教授。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 図 書 (編著)

- \* 竹中治堅編著『二つの政権交代—政策は変わったのか』全 304 頁、勁草書房、2017 年。編者として全体をとりまとめたほか、下記各章を執筆。
  - 「序章 政権交代は何を変えたのか」1-21 頁.
  - 「第 3 章 コーポレート・ガバナンス改革」85-120 頁.
  - 「結章 安倍政権と民主党政権の継続性」273-289 頁.

### (2) 学会発表

- \* 「序章」「コーポレート・ガバナンス」「政策継続性研究会」(政策研究大学院大学 2016 年 5 月 13 日)
- \* 「混合体制としての戦前日本の政治体制：競争的権威主義体制論への意味」2016 年度日本比較政治学会共通論題「競争的権威主義の安定性と不安定性」(京都産業大学 2016 年 6 月 26 日)
- \* 「鈴木均著『サッチャーと日産英国工場』」書評発表、先端行政学研究会 (東京大学先端科学技術研究センター 2016 年 7 月 8 日)
- \* 「オーラルヒストリー再確認」「オーラルヒストリー作り方使い方研究会」(東京大学先端科学技術研究センター 2016 年 7 月 16 日)
- \* 「日本政治研究におけるオーラル・ヒストリーの活用方法—『民主党を見つめ直す 元官房長官・藤村修回想録』から見えて来るもの」東アジア日本研究者評議会第 1 回国際学術大会「オーラル・ヒストリーと日本政治」(韓国 インチョン、ソンドコンベンシア 2016 年 12 月 1 日)
- \* 「日本の政治過程と政策決定」「日本政治と社会文化国際学術シンポジウム」(中国 北京、社会科学院日本研究所 2016 年 12 月 4 日)

### (3) その他

- \* “Interpreting the Upper House Elections: Please don’t squander your political capital, Prime Minister! —Putting growth strategies and fiscal health ahead of constitutional reform”, Politics No.34, *Discuss Japan: Japan Foreign Policy Forum*, Oct 16, 2016. (日本経済新聞「[経済教室] 参院選をどう読み解くか (中) —首相、政治資本活用誤るな」(2016 年 7 月 18 日) の転載。 <http://www.japanpolicyforum.jp/archives/politics/pt20161016210158.html>)

## 2. 助成金等による研究

- \* 科研費（基盤研究 C：16K03463）「国会の議事日程決定権限や首相の補佐体制が首相の指導力に及ぼす影響の実証的研究」（2016–2019 年度）研究代表者
- \* 科研費（基盤研究 B：16H03579）「商工・通産・経産省の政治的機能の解明による昭和・平成期の統治構造転換への総合研究」（2016–2018 年度）研究分担者
- \* 野村財団社会科学助成「政治改革以後の国内政策や外交・安全保障政策決定過程における首相の指導力の変遷の分析」（2016–2017 年度）研究代表者
- \* 政策研究大学院大学政策研究センターリサーチプロジェクト「政治改革後の政策決定過程の変容」（2015–2016 年度）研究代表者

## 3. 教育

### (1) 講義

- \* 日本政治と理論分析（春学期）
- \* 現代日本の社会システム（春学期）
- \* Comparative Politics (2016 Fall)

### (2) 論文指導

- \* One-year Master's Program of Public Policy (MP1)：修士課程 1 名（主指導、学位取得）

## 4. 管理・運営への関与

### (1) 委員会

- \* 図書館運営委員会
- \* 政策研究センター運営調査会
- \* 政策プロフェッショナルプログラム・コミティー
- \* 公共政策プログラム・コミティー
- \* Young Leaders Program Committee
- \* One-year/Two-year Master's Program of Public Policy (MP1/MP2)

### (2) その他

- \* 政策研究センター所長補佐
- \* 政策研究センターリサーチプロジェクト「政治改革後の政策決定過程の変容」研究代表者
- \* 図書選定（政治グループ）
- \* Ph.D. Candidate Seminar, May 30, 2016

## 5. 社会的貢献（A）

### (1) 他大学・研究所等における活動

#### ① 非常勤講師，研究員等

- \* 青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師 講義「比較政治 I」担当（全 15 回 2016 年度前期）
- \* 東京大学教養学部前期課程非常勤講師 講義「日本の政治」担当（全 13 回 2016 年度前期）

### (2) 企業，財団法人等における活動

#### ① 役員，委員会

- \* Nippon.Com 編集委員会委員
- \* 日本財団、グレートブリテン笹川財団、チャタムハウス共催「日英グローバルセミナー」企画委員会委員

## 6. 社会的貢献（B）

### （1） ジャーナリズムを通じた発言

#### ① 印刷メディア（新聞、雑誌等）

- \* 談話「強行自民、同日選も念頭、0増6減案成立へ」『日本経済新聞』2016年4月8日
- \* コメント「されど『良識の府』：2016参院選／中 2大政党、政争に終始」『毎日新聞』2016年5月4日
- \* コメント「〔憲法考〕改正の論点（7）法案成立 参院が翻弄」『読売新聞』2016年5月13日。
- \* インタビュー「衆院選改革法成立、アダムズ方式は次善の策」『日本経済新聞』2016年5月21日。
- \* コメント「衆院選『違憲状態』是正へ 定数減・区割り見直し 改革法」『朝日新聞』2016年5月21日。
- \* コメント「なるほどランド 参議院 どんな役割ある」『中日こどもウイークリー』2016年5月22日。
- \* コメント「消費増税再延期」『共同通信』、『北海道新聞』2016年6月2日などに配信
- \* コメント「参院選デフレ争点」『日本経済新聞』2016年6月2日。
- \* 談話「日本のゆくえ・公約分析：2016参院選 政策、正々堂々と訴えよ」『毎日新聞』2016年6月18日。
- \* インタビュー「『合区を問う』 大選挙区導入を」『高知新聞』2016年6月19日。
- \* コメント「徳島発参議院を問う（下）」『徳島新聞』2016年7月7日。
- \* コメント「最終盤、重点区絞り込み」『日本経済新聞』2016年7月8日。
- \* コメント「27年ぶり参院過半数 『3連勝』経て奪回、公明、存在感低下懸念」『毎日新聞』2016年7月23日。
- \* インタビュー「参院選結果 識者に聞く」『公明新聞』2016年7月15日。
- \* 談話「改造内閣の課題」『共同通信』、『琉球新報』2016年8月4日などに配信。
- \* 談話「自民、総裁任期どう見直す」『日本経済新聞』2016年8月8日。
- \* 談話「野党再生 民進代表選に思う<中>反対でなく政策を」『西日本新聞』2016年9月14日。
- \* 談話「長期政権へ『未来』力説」『日本経済新聞』2016年9月27日。
- \* 談話「民進、歯切れ悪い TPP 反対、党内に隠れ賛成派も」『日本経済新聞』2016年10月5日。
- \* コメント「国会パネル、水面下の攻防」『朝日新聞』2016年10月13日。
- \* 談話「参院選1票の格差「違憲状態」」『共同通信』、『北海道新聞』2016年10月15日などに配信。
- \* 談話「首相、21年まで在任可能」『日本経済新聞』2016年10月27日。
- \* コメント「TPP、混迷審議に注文」『日本経済新聞』2016年11月5日。
- \* コメント「『違憲』なし、原告ら憤り、『不平等、許されない』一票の格差訴訟」『朝日

新聞』2016年11月9日。

- \* コメント『「1強国会」課題残す』『日本経済新聞』2016年12月15日。
- \* コメント「次期衆院選は今年後半」『日本経済新聞』2017年1月8日。
- \* 寄稿“Japan’s Cautious Steps Towards Constitutional Reform” *Japan Journal* 2017年2月号（“日本的修憲动向”として2017年1月14日付シンガポール『聯合早報』紙に掲載）。
- \* 談話「PKO・森友問題」『日本経済新聞』2017年3月17日。

② 電波メディア（テレビ、ラジオ等）

- \* BS ジャパン『日経プラス10』「参院選スペシャル『どうなるニッポン!』」、2017年7月10日。
- \* BS フジ『プライムニュース』「2017年の政治展望：“安倍一強”は続くか」、2017年1月17日。

③ その他（ウェブ媒体等）

- \* 寄稿「消費増税再延期の可能性 なぜ安倍首相はブレようとするのか」Yahoo!ニュース 個人、2016年5月29日。
- \* 寄稿「参議院選挙 注目すべき与党の獲得議席は？」Yahoo!ニュース 個人、2016年6月5日。
- \* 寄稿「参議院議員選挙 真の争点は何か？」Yahoo!ニュース 個人、2016年6月19日。
- \* 寄稿「参議院議員選挙の争点：首相は憲法をどのように改正したいのか？」Yahoo!ニュース 個人、2016年6月22日。
- \* 寄稿「安倍・トランプ日米首脳会談に向けて：「アメリカ・ファースト」の本当の意味とは？」Yahoo!ニュース 個人、2017年2月5日。

(2) 講演会、座談会、会議出席

- \* 講演会講師「現代日本の議院内閣制」と和歌山県会、そして、「現代日本の開化」、旧和歌山県議会議事堂開館式典・記念講演会、和歌山県岩出市、2016年4月1日。
- \* 勉強会講師「日本の統治機構と首相」日経・CSIS バーチャル・シンクタンク勉強会、東京、2016年5月10日。
- \* 勉強会講師「日本の安全保障政策の展開と参議院」政策懇談会、東京、2016年5月10日。
- \* 討論会パネリスト “Closing Lunch: Time to stop living at the expense of the future” Round Table Japan, 東京、2016年6月3日。
- \* 勉強会講師「安倍内閣の権力構造と政策」白虎会、東京、2016年6月9日。
- \* セミナー講師 Forum 80「安倍政権の権力構造と政策」東京、2016年6月16日。
- \* 外国プレス・外交団向けブリーフィング講師 “WAITING FOR THE THIRD ARROW? The House of Councillors Election 2016 and Japanese Politics” FPCJ Press Briefing, 2016年6月20日。
- \* 勉強会講師「アメリカで学んだことで見えてくる日本の政治」国際人材創出センター勉強会、東京、2016年9月26日。
- \* パネルディスカッション司会 東京大学外資系银杏会「グローバル ビジネス リーダーズ サミット」「マクロエコノミー プロジェクト」東京、2016年10月15日。
- \* セミナー講師 青山社中
  - 「議院内閣制と選挙制度」東京、2016年11月2日。

- 「首相の指導力」 東京、2016年11月9日。
  - 「日本政治の構造変化」 東京、2016年11月16日。
  - \* パネリスト “Managing the Complexity of Asian Geopolitics” Horasis Asia Meeting、バンコク、2016年11月28日。
  - \* セミナー講師 Forum 80 「安倍政権の権力構造と政策」 東京、2016年12月6日。
  - \* 外国プレス、外交団向けブリーフィング講師、FPCJ Press Briefing 「Japanese Politics in 2017」 東京、2017年1月11日。
  - \* 講演会講師 「トランプ大統領と日本：「アメリカ・ファースト」の意味」 株式会社ディスコ講演会、東京、2017年2月21日。
  - \* 討論会司会 「憲法セッション」 G1 サミット、北海道留寿都、2017年3月19日。
  - \* 講演会講師 「アジア太平洋における日中の未来：日米同盟と日中関係」 日中関係学生大討論会、東京、2017年3月26日。
- (3) その他
- \* 自主ゼミ「竹中ゼミ」大学生と月1回、現代に関連する書籍を読む読書会（於：政策研究大学院大学）